



山梨県議会議員

令和4年2月定例県議会報告

流石やすし

あなたの声を県政に届ける

県政報告 Vol.12 令和4年4月発行



～コロナ禍を抜けた先にある豊かさを求めて、 そして掴み取り県民お一人おひとりのもとのに届けます!～

ロシアがウクライナに侵攻してから1ヶ月半が経過します。今この時も市街地に砲弾が撃ち込まれ、無辜(むこ)の命が奪われています。この凄惨な戦火を一日も早く終わらせウクライナの主権と国際秩序の回復を心から願っています。

新型コロナウイルス感染症は依然として猛威を振るっており、BA.2による第7波到

来の懸念が強まっています。皆様のさらなるご協力をお願いいたします。また、感染症の拡大を抑え込むためにクラスター対策を重視し、併せてワクチン接種の促進を図っていくことが有効であると認識しています。

さて、私が山梨県議会議員に就任してから3年が経ちます。その間、地域の皆様から、多くのご指導・ご支援をいただきなが

ら議員活動ができたことを深く感謝申し上げます。また、台風19号、新型コロナウイルスなど予期せぬ大禍に見舞われてきましたが、山梨県知事とともに不撓(ふとう)不屈の一心で県政の進展に取り組んできました。

これからも全身全霊、県民の皆様へ寄り添い県政のために全力で努めてまいります。

《新型コロナウイルス感染症対策を徹底しましょう!》

◎BA.2による新規感染者数が増加傾向にあり、クラスターによる病床使用率は上昇しています。
基本的な感染防止対策の徹底を!

◇かからないとうつさない!

マスク・換気・手洗い。基本的な感染対策の実施(身体的距離の確保)

◇ワクチンを接種していてもマスク・換気・手洗いでかからないとうつさない!

2月定例県議会

令和4年2月定例県議会は2月16日に開会し、3月23日に閉会しました。

2022年度一般会計当初予算案5,467億4,447万4千円、2021年度2月補正予算案572億1,515万4千円や条例案など156案件が可決された。令和4年度一般会計当初予算案は、令和3年度予算と比較して176億6,135万3千円の増額で103.3%である。

知事所信表明要旨

基本姿勢

知事に就任した1年目の秋には台風19号、2年目から3年目にかけては新型コロナウイルス感染症と予期せぬ大禍に見舞われてきた。`停滞は決して許さない、という不撓不屈の一心で県政進展にまい進した。任期4年目に当たり県政の前進を確固たるものとするため強靱化、高付加価値化、基礎条件充実の『三つのK』を掲げ、

県のあらゆる可能性を花開かせる。

新型コロナウイルス対策

感染力が極めて強いオミクロン株の拡大により過去最大の感染の波が押し寄せてきた。その渦中においても「必要とされる方に必要な医療を届ける」ことを大原則に医療体制の確保に最大限の努力を行ってきた。

防災・減災対策

豪雨や大規模地震、富士山噴火などの災害リスクに備え、県民の命と暮らしを守るため、計画的な社会資本整備を進めることが重要である。防災・減災対策を中心とし

た公共事業については国の予算を積極的に活用して前年度を大幅に上回る931億円を計上した。

高付加価値化

県民一人一人が持つ可能性を最大限発揮し、高い価値を生み出すことにより、人口減少にも負けない高収益体質への移行を目指す。これを進めるために地域資源の「上質さ」をPRすることなど「ブランド戦略」を重視し、「やまなしブランド」全体の価値を高め地域資源のブランド価値を向上させるという好循環の構築を狙う。

令和3年度2月補正予算の概要

- 新型コロナウイルス検査事業費(1億4,810万円)
- (新)「やまなしGo To トラベル」推進事業費(97億824万円)
- 富士山火山広域避難対策推進事業費(858万円)

令和4年度当初予算の概要

1 攻めの「やまなし」成長戦略

- (新)東京オリンピック自転車競技ロードレースレガシー事業費(170万円)

- (新)青木ヶ原樹海イメージアップ強化事業費(1,483万円)
- (新)山梨がんばる観光地支援事業費(3,517万円)

2 次世代「やまなし」投資戦略

- いじめ・不登校対策事業費(2億2,872万円)
- (新)未来・やまなしアスリート支援事業費(2,045万円)

3 活躍「やまなし」促進戦略

- 男女共同参画・共生社会推進事業費(3,996万円)
- 二拠点居住推進事業費(4,102万円)

4 安心「やまなし」充実戦略

- 新型コロナウイルス感染症無料検査支援事業費(26億6,580万円)
- 宿泊施設を活用した軽症者等受入事業費(115億7,652万円)
- 子どもの貧困対策推進事業費(907万円)

- ヤングケアラー支援強化事業費(4,922万円)

5 快適「やまなし」構築戦略

- (新)交通安全施設緊急整備費(1億411万円)
- (新)富士山火山現地対策拠点機能整備事業費(3,702万円)

2月25日に「自由民主党新緑の会」の代表質問を13項目について行いました。



1. 新たなグリーン・ゾーン認証制度の説明を

知事 海外からの評価獲得に向け、海外高級ホテルグループが取得を進める国際衛生基準との日本初となる認証互換に取り組んでいる。入口除菌ゲートや非接触チェックインシステムなどの対策を基準に上乘せする。感染者発生に対応したBCP作成なども追加する。来年度早い時期から申請受付を開始する。

2. 2019年の台風第19号の被害検証を踏まえた新たな災害対応の取り組みを

知事 災害対策本部に県外から人材応援を受けるための窓口となる組織を新たに設置した。SNSで発信される情報を効率よく活用するため、AIを用いたツールも導入した。災害時に孤立する恐れのある避難所で、非常時の電源を確保するため、市町村に対する補助制度を創設し、13市町村で94台の非常用電源を整備した。

3. 障がい者の雇用促進を図れ

知事 障がいのある方の就労支援のため、個々の適性や能力に応じた就労支援センターでの職業訓練のほか、就労意欲の醸成や職業能力の向上を図るため障がい者職業能力検定を実施している。また、障がいのある方を雇用した中小企業に対しては2年間の国の助成金の他に県が6ヶ月間助成を継続することで職場への定着率が高まるよう支援している。これに加えて農福連携とともに産福連携の取り組みも推進していき絶え間ない支援を行っていく。

4. 少人数教育導入の効果を検証せよ

知事 来年度、少人数教育推進検討委員会を設置し、3年生以降の少人数教育の方向性について議論を進める。効果検証は大学の専門家の協力を得ながら、多角的に調査し一部は着手した。26人以上の学級に複数教員を配置するアクティブクラスについても成果や課題を整理し年末をめどに対応を決定する。

5. 国道413号線の強靱化を図り、首都圏へのルート確保を

知事 国や中日本高速道路が国道20号線や中央道などの整備を進める一方で本県が管理する国道413号線はそれらの代替ルートとなることから着実に強靱化を進める必要がある。法面などの強化、バイパスの整備、迂回路の確保の三つの観点で整備を進めている。道志村野原から月夜野までの区間の道志バイパスの整備工事を進めており、来年度はトンネル工事に着手する。

更に、県道都留道志線は新たなトンネルを整備することとしており、概略ルートの測量や調査を進めている。また、国道413号の東京圏へのルート確保のために昨年度、強靱化に関する協定を締結した相模原市とも連携して取り組んでいく。

6. ふるさと納税をさらに推進せよ

知事 ふるさと納税は、自主財源の確保のほか、山梨の魅力の発信、地域産業の活性化や本県訪問の動機づけにもつながることから、本年度、全庁を挙げてさらなる確保に取り組んでいる。返礼品については、シャインマスカット、県のオリジナル新品種であるモモの夢みずき、地理的表示「山梨」認定のワインや日本酒など昨年度末時点の622品目から倍増させている。また、本県ならではの体験型プログラムとして田舎暮らし体験などを加え充実を図ってきた。更に、企業版ふるさと納税について進めており実績を積んでいる。県としては、寄付者の皆様に今後もリピーターとして山梨を応援してもらえよう、また、ふるさと納税をきっかけに山梨に親しみや愛着を持っていただけるよう取り組むことが重要である。

◎その他の質問

- 食文化の継承について
- 高齢者のフレイル予防の推進について
- 木製バイオマスの利用促進について
- 2050年カーボンニュートラルに向けた太陽光発電の導入について
- 家畜伝染病の防疫対策について
- 建設資材の価格高騰に対する対応について
- 高齢者の交通事故防止対策について



精進湖民宿村南側大木の伐採始まる!

長年の懸案であった、精進湖民宿村の南側の大木の伐採が始まりました。冬場は日陰の部分が凍結し通行不可能な箇所が多くありました。今後、2~3年間の伐採を計画しています。



総務委員会



富士山噴火防災研修会



予算特別委員会

以上、2月定例県議会の概要の報告といたします。

山梨県議会議員として3年が経過します。この間、地域の皆様の多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。今後も引き続き、地域の皆様のご意見やご提案を真摯に受け止めて『堀内詔子衆議院議員』や『長崎幸太郎知事』に着実にお伝えしていきます。より安全で豊かな地域を目指して懸命に努めていく覚悟です。ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

発行者

流石やすし事務所

山梨県富士河口湖町船津3449 TEL:0555-73-1311 FAX:0555-73-3500 E-mail:fujisan5@mfi.or.jp